

高田高校 SSH 通信

第43号

新潟県立高田高校 SSH 部

令和3年6月30日

3年 MC 課題研究 4名の生徒が研究成果を発表しました

3学年4名の生徒が5月19日(水)、日本気象学会ジュニアセッション、6月6日(日)、日本地球惑星科学連合高校生セッションにて研究発表を行いました。発表はオンライン形式で行われ、5～7分程度の研究発表の後、質疑応答の時間が取られました。その後、大学の先生方や研究所の研究者と発表者によるセッションが行われ、研究内容や実験方法、考察、今後の展開について助言をいただきました。研究テーマ、発表者は以下の通りです。

「ストロー整流子を用いた水滴の浮遊」

3年6組 佐藤嵩也 高原碧波 安井汐織

「高温槽と冷水槽逆転による回転水槽」

3年6組 美納正宗



オンライン発表の様子（日本地球惑星科学連合高校生セッション）

以下の皆様からオンライン発表(研究内容)について有益なコメントをいただきました。

○東京大学 海洋研究所 伊賀啓太 様

○お茶の水女子大学 神山翼 様

○九州大学 中嶋健介 様

○慶応大学 杉本憲彦 様

○防災科学技術研究所 大東忠保 様

○日本気象協会 平松信昭 様

○JAMSTEC(海洋研究開発機構) 小玉知央 様 山崎哲 様

1年 MC 課題研究 基礎実験を実施しました

6月16日(水)、物理分野の重力加速度の測定実験、実験値のデータ処理を行いました。5限は物理教室で、おもりが落下する様子を記録タイマーで打点し、移動距離を測定しました。6限は情報処理教室にて、Excelを用いてグラフを作成し、重力加速度を求めました。理論値との誤差を考察し、レポートを作成しました。放課後残ってデータ処理をするなど、熱心に取り組んでいました。



重力加速度の測定実験



各自テーマに沿って実験中

2年生 MC 課題研究 テーマ発表会に向けて準備中

2年生は、7月6日(火)にテーマ発表会があります。これまで自分達で研究テーマを考え、それについて調べてきました。手探りで実験を始めたばかりですが、これまでの内容をパワーポイントにまとめ発表します。結果を分析、考察することや先生、友人からの助言、指摘を受けて、研究の課題、問題点を見つけ、有意義なテーマ発表会にしてほしいと思います。